

## 第2学年4組 道徳指導案

- 1 主題名 奉仕活動で大切なこと〔内容項目C－(15)：集団生活の充実〕 (1時間完了)  
〈資料名 「ぼくにできること」 出典：明るい人生(愛知県教育振興会)〉

### 2 ねらい

自然教室の実行委員に立候補した主人公が、部屋割りを上手く決められず、実行委員をやめようとするが、父が町内のお祭りの運営に「自分も楽しみたい」という気持ちで取り組んでいることを知る。この資料における主人公の気持ちの変化をとらえることで、奉仕的な活動は、気持ちのもち方次第で楽しみになることを自覚し、自分だけでなく相手にとっても気持ちのよいものであることに気づき、進んで人のために役立とうとする道徳的な実践意欲を高める。

### 3 ねらいとする道徳的価値

社会生活の中で、人や社会のために進んで尽くそうとする気持ちをもつことは尊い。また、分業によって社会が支えられているということから、働くことには自らの目的の実現だけでなく、社会貢献を自覚することにもつながる。学級も同様に分業によって成り立っており、自分の役割を果たす必要がある。

本時の指導を通して、学級の中でも自分にできることがあると自覚し、役割を果たすことの大切さを再認識し、進んで社会や人のために役立つことをしようとする気持ちを高めたい。

### 4 ねらいとする道徳的価値に関する生徒の実態と願い

#### (1) 学級について

本学級では、生徒一人一人が最低一つは委員会・教科リーダー・学級の係などの仕事を担っており、学級や学校のために活動する役割をもっている。「今週から〇〇週間が始まります」などと、学級の前で連絡や指示をすることが、どの立場の仕事にも存在する。本学級の多くの生徒は、学級全体に対して話をするとき、声が小さく、何を言っているのか分からなかったり、連絡をし忘れていたりする。このように本学級の生徒の引き受けた仕事への取り組みは消極的である。ましてや、本時のねらいである奉仕的活動を楽しもうとする気持ちは、ほとんどの生徒がもち合わせていないようである。

道徳の授業では、積極的な挙手を求めるが、一部の生徒のみが何度も発言し、他の生徒は聞き役に徹することが多い。それでも資料の内容把握を促し、十分に考える時間を設けると、ほとんどの生徒が自分の意見をワークシートに書くことができる。机間指導を行い、意見を発表するように一人一人に声をかけるが、それでも教師が指名をしないと発言できない生徒がいる。

本時の資料は、学校行事である自然教室の実行委員に軽い気持ちで立候補した主人公にスポットライトを当てており、生徒にとって身近な題材であるため考えを深めやすく、積極的な挙手・発言が期待できると考えた。本資料を通して、実行委員の仕事に積極的でなかった主人公が、父の話を聞き、楽しみながらやっという前向きに考えるようになったことを自分と重ね合わせ、今後自分自身が楽しむ気持ちをもって奉仕活動を行おうとする気持ちを高めたい。

#### (2) 抽出生徒について

##### ①抽出生徒Aについて

Aは朗らかで人当たりがよい。係活動を確実にしたり、体育大会の副団長に立候補したりして、

級友からの信頼も厚い。しかし、自分のやりたい活動には意欲的に取り組むものの、自分のやりたくない活動や、完遂できる自信のない活動に対しては消極的になってしまう傾向がある。本時の指導を通して、生徒会役員や級長などの役割に立候補してみようとする気持ちをはぐくみたい。

## ②抽出生徒Bについて

Bは、本学級の前期学級庶務を担当した。自分の役割に対する高い責任感に級友たちも認めている。また、選手激励会のエール代表に自ら立候補するなど、どんな活動でも楽しむ気持ちをもつことで充実したものになることをよく理解し、普段から実践している。本時の指導では、これまでの経験をもとにした考えを中心発問で発表し、どんな気持ちで係活動に取り組むべきかを学級の仲間に広め、級友に新たな視点を与えてほしい。

## 5 資料について

### (1) 資料の概要

2年生最後の行事である自然教室の実行委員に軽い気持ちで立候補した主人公。部屋割りを決める際、好きな子同士という方法では、女子は上手く決められなかった。女子に文句を言われ、腹が立った主人公は「ぼく、実行委員なんてやめます」と言い、話し合いは翌日に持ち越されることになった。その夜主人公は、父が会社の仕事に加え、町内のお祭りの役員を「自分も楽しみたい」という気持ちで行っていることを知り、自分を見つめ直す機会を得る。

### (2) 「耳をすまして、学びを拓く」ための資料の生かし方

#### ①資料と対話をさせるための手だて

第2場面で、主人公は自然教室の実行委員を投げ出そうとする。しかし、第3場面で父が町内のお祭りの役員を「自分も楽しみたい」という気持ちで取り組んでいることを知る。範読の際、主人公のセリフや行動は暗い声色で、父のセリフは明るい声色で読むようにする。そうすることで、生徒に主人公と父の考えの違いと、奉仕的な活動をするうえで大切なことが何か気づかせたい。

#### ②他者との対話、自己内対話をさせるための手だて

第3場面で、主人公が父の話聞いたときに、主人公がどんな気持ちになったのかについて十分時間をとって意見交換させる。父がお祭りの役員に対してどんな気持ちで取り組んでいるのかに迫るために、資料中の父の話や姿を確認したり、話し合いの中で異なる意見を求めたりする。抽出生徒Aに、主人公の父が「自分も楽しみたい」という気持ちで大変な仕事を自ら買って出ている事実と、自分自身の普段の行動を比較して受け止めさせ、自己内対話を促す。そして、自分自身に楽しもうとする気持ちが足りなかったことに気づかせ、今後の生活に生かそうとする気持ちをはぐくみたい。

## 6 板書計画

<p>ぼくにできること</p> <p>ぼく…自然教室の実行委員</p> <p>軽い気持ちと純粋な気持ちで立候補</p> <p>父…会社 お祭りの役員</p> <p>「もう実行委員なんてやめます。」 と言ったぼくをどう思う。</p>	<p><b>批判</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>軽い気持ち×</li> <li>無責任</li> <li>よく考えてから始めるべき</li> </ul> <p><b>弁護</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仕方ない</li> <li>嫌な気持ち当然</li> <li>弱い心に納得</li> </ul>	<p>父の話聞いて、主人公はどんな気持ちになったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お金がもらえるわけじゃないのに会社もあるのに</li> <li>自分も楽しみたいという気持ちで</li> <li>自分も楽しむという責任感？</li> </ul> <p>あなた主人公なら、明日の話し合いで何と言う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自信がないからやめます。</li> <li>納得できる方法を話し合おう。</li> <li>ぼくもみんなも楽しめる自然教室にしたい。</li> <li>自分が楽しむ大切さに気づいた。</li> </ul> <p>みんなのため・楽しませる</p> <p>自分も楽しい</p>
---	---	--	---

7 本時の展開

時間	学 習 活 動	※教師支援 ☆評価
1	<p>他人のためにがんばっていたのに、途中で投げ出したくなったことはあるか。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>係の連絡をしても、誰も耳を傾けてくれない。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>部活の道具の準備を他の子が手伝ってくれない。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>勉強を教えてあげても全然理解してくれない。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>自分だけ一生懸命掃除をしていて、嫌になる。 (①)</p> </div> </div>	<p>※アンケートをもとにした発問をすることで、多くの生徒が発言しやすい雰囲気をつくる。</p> <p>※周りの人が協力的でないときや、やり遂げられそうにないときの気持ちを問い返し、誰しも投げ出したくなる弱い心をもっていることを確認する。(①C:気づかせる)</p>
5 10	<p>○資料の範読を聞く。</p> <p>「もう実行委員なんてやめます。」と言ったぼくをどう思うか。</p> <p>○相互指名で話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <span>〈批判〉</span> <span>〈弁護〉</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>軽い気持ちで引き受けたのが悪い。 (②)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>自分でやると言ったのに、途中で投げ出すなんて無責任だ。(②)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>よく考えてから話し合いを始めればよかったのに。</p> </div> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>←→</p> </div> <div style="width: 45%;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>まとまらなかったんだから、そう思うのも仕方ない。 (③)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>一生懸命やっているのに、批判されたら嫌な気持ちになるのは当然。(③)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>誰しも弱い心をもっているから、そう思うのも納得。(③)</p> </div> </div> </div>	<p>※主人公が軽い気持ちと純粋な気持ちで実行委員に立候補したことを確認する。</p> <p>※批判と弁護の2つの立場が他の生徒から分かるように異なる色の目印を用意し、意見交換が活発になるようにする。</p> <p>※主人公に対して批判的な意見(②)に偏ったら、女子に文句を言われた主人公の気持ちを考えさせる。弁護的な意見(③)に偏ったら、主人公が実行委員に立候補した動機が書いてある板書を指示し確認する。または立場を明らかにするための目印をもとに教師が意図的に指名する。 (②、③E:ゆさぶる)</p>
20	<p>父の話を聞いて、主人公はどんな気持ちになったのだろう。</p>	<p>※父の責任感の有無についての意見が出たら、父の話と様子を再度確認し、責任感や義</p>

お金がもらえるわけ  
じゃないのに、よく  
やるな。

会社もあって大変な  
はずなのに、いきい  
きしているな。

父さんには強い責任  
感があるな。(4)

自分も楽しみたいと  
いう気持ちで取り組  
んでいるんだな。(4)

30

あなたが主人公なら、明日の話し合いで何と言うか。

僕は実行委員を続ける  
自信がありません。ご  
めんなさい。他の人が  
やってください。

実行委員を続けたい。  
男女ともに納得できる  
方法を話し合いましょ  
う。

ぼくもみんなも楽しめ  
る自然教室にしたいの  
で、実行委員をやらせ  
てください。(5)

実行委員をやめようと  
思ったけど、自分が楽  
しむことが大切だと分  
かったので、続けます。  
(6)

45

- 教師の説話を聞く。
- 振り返りをする。
- 振り返りを発表する。

生徒の「これからは、自分自身が楽しむ気持ちを持ち、  
苦手とすることにも積極的に取り組みたい」という感想  
を取り上げ、教師が温かい声かけを行い、人のために役  
立つことをしようとする意欲を高める。

主人公の心の変化に共感し、地域やクラスのために働く  
ことが、自分の楽しさにつながることに気づき、他人の  
ために役立とうとする気持ちがさらに高まる姿。

務感で祭りの仕事をしてい  
るのではなく、「自分も楽し  
みたい」という気持ちで活動  
していることに気づかせる。

**(4C : 気づかせる)**

☆自分も楽しみたいという点  
に着目した意見に対して、う  
なずきながら話を聞いている  
か。(生徒の様子)

※「実行委員をやめる」という  
立場の生徒を先に指名し、意  
見を言わせ、再度誰しも弱い  
心があることを確認した後、  
「実行委員を続ける」という  
立場の生徒に意見を發表させ、  
「実行委員をやめる」とい  
う立場の生徒の考えをゆ  
さぶる。(5E : ゆさぶる)

※抽出生徒Bを意図的に指名  
し、みんなのために奉仕する  
楽しさを理解し、普段の生活  
から係活動に積極的に取り  
組んでいる様子を認める。  
(6B : 認める)

☆地域や学級に役立とうとす  
る気持ちがさらに高まった  
か。(ワークシート)

**授業の視点**

- ① 主人公の気持ちに共感しながら、自分自身について問うた基本発問から中心発問までの一連の発問は、「自分も楽しみたい」という考えを引き出すというねらいに迫るうえで有効であったか。
- ② 中心発問後の教師支援は、ねらいに迫るうえで有効であったか。